

2019 年度 産学連携教育プログラム 手続要項

ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

ビジネスコミュニケーションプログラム

野村証券ファイナンスプログラム

日経・ビジネスプログラム

サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム



明 海 大 学

総合教育センター

産学連携教育プログラムについて

総合教育センター キャリア教育部門

この産学連携教育プログラムは、本学の実学教育の一環として 21 世紀の高付加価値人材を育成するために本学の「総合教育センター」が提供するもので、5 つのプログラムを開設しています。

これらのプログラムは、いずれも大学教育と企業等実社会を接続するもので、皆さんが所属する学部・学科で学んでいる専門知識をより一層広がりのあるものにしてくれるはずです。

また、講師は、いずれのプログラムも企業の最前線で活躍されている方々で、皆さんの将来の目標を達成する上で、たいへん役立つ知識を得ることができることでしょう。

皆さんが、積極的にこれらのプログラムを活用し、実学知識を身につけ、都市や地域の活性化、ひいては国際社会の発展を担う人材として活躍することを期待しています。

1 ガイダンス日時・場所

2019 年 3 月 29 日（金） 11:40～12:30 2102 大講義室

2 履修にあたっての注意事項

- 「履修希望カード」は、ガイダンス時に提出することになっていますので、必ず事前に記入の上、ガイダンスに出席してください。「履修希望カード」については P.14 ページ以降を確認してください。
- 産学連携教育プログラムの授業科目と必修科目等が同一時限に重複する場合は、必修科目等を優先して履修してください。＊
- 授業科目の詳細について、必ず「講義概要」で確認してください。＊
- 修得単位の取扱い
「共通科目」の「キャリア形成教育」の卒業要件単位数に算入されます。

※ 2019 年度の「授業時間割」及び「講義概要」については、3 月 26 日（火）から Web ポータルシステムで確認できます。

目 次

(ページ)

【プログラム概要・履修方法等】

I	ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム（株式会社 ANA 総合研究所）	2
II	ビジネスコミュニケーションプログラム	3
III	野村証券ファイナンスプログラム（野村証券株式会社）	5
IV	日経・ビジネスプログラム（日経メディアプロモーション株式会社）	6
V	サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム（株式会社サイマル・インターナショナル）	8

【授業の概要】

VI	2019 年度産学連携教育プログラム授業概要	11
----	------------------------	----

【授業時間割】

VII	2019 年度産学連携教育プログラム授業時間割	13
-----	-------------------------	----

【履修希望カードの提出等について】

		14
--	--	----

【履修希望カード】

	ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	15
	野村証券ファイナンスプログラム	16
	日経・ビジネスプログラム	17

* ビジネスコミュニケーションプログラム及びサイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラムの「履修希望カード」は学事課（教務担当）の窓口で配布します。

I ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム

本プログラムは、明海大学と株式会社 ANA 総合研究所が国際的な視野に立ったツーリズム、CS (Customer Satisfaction : 顧客満足) 及びサービスに関する実学知識・スキルを修得することを目的としたプログラムについて覚書を締結して開設するものです。

1 授業科目・開講時限等

授 業 科 目 (単位数)		配当 年次	授 業 担当者	開講期	曜日・時限
ツ ー リ ズ ム (観 光)	ツーリズム概論 (2)	2	松山 豊浩	前	火・4
	ホテル・リゾート研究 (2)	2	松井 太郎	後	月・3
	航空サービス論 (2)	2	大蔵 あかね	後	木・3
	フライトアテンダント・グランド スタッフ研究 (2)	2	大蔵 あかね	前	月・3
サ ー ビ ス (CS (顧 客 満 足) ・)	ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎) (2)	2	大崎 史眞子	前	木・3
	ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業) (2)	2	大蔵 あかね	後	木・4
	ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習) (2) *定員 24 名	2	大崎 史眞子	前	木・4

2 履修資格・方法等

(1) 履修年次等

このプログラムの全ての科目は2年次から履修可能です。

また、1科目(2単位)のみの履修も可能ですが、4科目(8単位)以上修得することを推奨します。

(2) 履修資格等

外国語学部、経済学部及び不動産学部の学生で、産学連携教育プログラム履修ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出した者。

(3) 履修登録の手順等

ア ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出してください。

イ 履修を希望する科目の初回授業に出席してください。

※ 履修について注意事項がありますので、担当教員の指示に従ってください。(ホスピタリティ論Ⅲについては、初回授業で抽選を行う場合があります。)

※ 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。

ウ 履修登録期間中に Web ポータルシステムで履修登録を行ってください。

※ 1年間分(前学期・後学期)の科目を登録してください。

Ⅱ ビジネスコミュニケーションプログラム

本プログラムは、日常生活をスムーズに送るための人間関係構築の視点から、マナーと日本語によるコミュニケーションについて学び、更にビジネスの世界においても、安心と信頼から成る人間関係を構築するためのスキルを修得することを目的とします。性別や将来の進路・職種に関係なく、幅広い分野で役立つプログラムです。積極的に受講してください。

1 授業科目・開講スケジュール等

授 業 科 目 (単位数)	配当年次	授業担当者	開講期等
ビジネスコミュニケーションA (1) ビジネスコミュニケーションB (1)	1	安部 桂子	前・後学期 集中授業

注：上記授業科目は、A・B同一内容で2科目2単位（2回）まで受講できます。また、この授業の単位数は履修単位数の上限には含まれません。

2 授業開講スケジュール等

開講期	開講スケジュール			
	回	開講日	時限	受付期間等
前学期	1	5月11日(土) 5月18日(土) 5月25日(土) 6月 1日(土)	各1時限・2時限	4月4日(木) から先着順
	2	8月 1日(木) 8月 2日(金)	各1時限～4時限	7月5日(金) から先着順
	3	8月 8日(木) 8月 9日(金)		
後学期	＊後学期の開講スケジュール等については、後学期の授業開始前に掲示で連絡します。			
備 考	注1：開講日及び時限等が変更になった場合は、掲示等で連絡します。 注2：各回ともすべての授業に出席しなければなりません。 注3：各回をまたがって受講することはできません。 注4：受講当日は受付時に受領した受講証と学生証を必ず持参してください。 注5：筆記用具を必ず持参してください。 注6：各回最終日の服装はリクルースタイルとします。 注7：本授業に参加するために、平常授業を欠席することは認められません。 注8：前学期第3回の授業については、4年（8学期）の学生は単位認定をしないことを条件に参加が認められます。			

3 履修資格・方法等

(1) 履修資格等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部の1年～4年

(2) 定員

1 クラス 20 名以内で各回とも先着順とします。

なお、各回授業日程の1週間前までに履修希望者が10名に満たないときは、授業が開講されない場合があります。

(3) 履修手続等

前学期分の履修登録を先着順で次のとおり受け付けます。

なお、後学期分の履修手続等については、後学期開講スケジュールの発表と同時にお知らせします。

ア 受付開始日

第1回 2019年4月4日(木) から先着順

第2回及び第3回 2019年7月5日(金) から先着順

イ 受付場所・受付時間

学事課(教務担当)・窓口取扱時間内

ウ 手続方法

学事課(教務担当) 窓口で配布する「履修希望カード」を記入の上、提出してください。

注：各回とも、定員になり次第受付を締め切りますので、履修希望者は早めに申し込んでください。

なお、定員制で先着順に申込みが行われるため、申込み後、万一受講できなくなった場合は、速やかに学事課(教務担当)(電話：047-350-4993)に連絡してください。

Ⅲ 野村証券ファイナンスプログラム

本プログラムは、明海大学と野村証券株式会社が、資本市場と証券投資に関する実学・実践的な教育プログラムについて、覚書を締結し開設するものです。日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者あるいは貯蓄・投資者として賢く振舞うためのファイナンスに関する実践的な知識を修得することができます。

前学期は、野村証券株式会社の現役スタッフが証券市場に関するタイムリーな話題を中心に授業を行い、後学期は、日経 STOCK リーグ※を利用したバーチャル株式体験学習等を行います。

なお、「日経・ビジネスプログラム」を同時履修することで、より一層理解が深まります。

※ 日経 STOCK リーグとは、野村ホールディングスと日本経済新聞社で運営をしている、インターネットを活用した株式学習サイトです。

1 授業科目・開講時限等

授 業 科 目 (単位数)	配当年次	授業担当者	開講期	曜日・時限
<野村証券提供科目> 資本市場の役割と証券投資 (2)	2	野村証券からの派遣講師	前	火・5
<明海大学開設科目> 証券投資シミュレーション (2)	2	伊東 尚憲	後	火・5

コーディネーター：新井 啓（経済学部教員）

注：前学期「資本市場の役割と証券投資」及び後学期「証券投資シミュレーション」の2科目両方を履修しなければなりません。いずれか1科目のみの履修はできませんので注意してください。

2 履修資格・方法等

(1) 履修資格等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部の2年生以上で、次に掲げる項目について書類審査し、50名以内を選抜します。

- ① 単位修得状況及びGPA（前年度末までの累計）
- ② 取得資格等
- ③ パソコンのスキル（インターネット・エクセル）
- ④ ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ又は不動産実務演習E・Fの受講状況（経済学部及び不動産学部学生のみ）
- ⑤ 証券、金融関連企業への就職を希望する者で、授業に積極的に参加する意欲のある者（「履修希望カード」の履修動機）

注：②及び④の項目は必須条件ではありませんが、応募者多数の場合は、選抜の際の参考とします。

(2) 履修登録の手順等

ア ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出してください。

イ 4月4日(木)に2101・2103大講義室横掲示板に掲示される履修許可者を確認してください。

※ 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。

ウ 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行ってください。

Ⅳ 日経・ビジネスプログラム

本プログラムは、明海大学と日経メディアプロモーション株式会社が実学・実践的な教育プログラムに基づき、産学連携で授業を行います。受講者は、自宅に配達される日本経済新聞（大学負担）を教材とし、豊富な経験を持つ派遣講師から解説を受けることができます。日本経済新聞を身近に感じながら、日本経済や世界経済の動向等についての理解を深めることをねらいとしています。

就職活動を間近に控えた学生又は実際に活動を行っている学生の業界研究・企業研究を進める上での知識を得るのに最適なプログラムです。

なお、「野村證券ファイナンスプログラム」を同時履修することで、より一層理解が深まります。

1 授業科目・開講時限・教材等

(1) 授業科目・開講時限等

授 業 科 目 (単位数)	配当年次	授業担当者 (予定)	開講期	曜日・時限
日経・ビジネスプログラム (4)	2	・日経メディアプロモーション 株式会社からの派遣講師 ・大黒 章子	通	木・2

コーディネーター：大黒 章子（総合教育センター教員）

(2) 教材

本プログラムでは、教材に日本経済新聞を使用し、受講者の自宅（大学に届け出ている学生現住所宛）に以下のとおり新聞（朝刊・夕刊）が配達されます。

日本経済新聞配達期間：6 か月間

・前学期：5月1日から7月31日までの3か月間

・後学期：10月1日から12月31日までの3か月間

なお、新聞購読費用については、大学が負担します。

注1：新聞購読に関して、以下の事項が生じた場合には、直ちに学事課（教務担当）まで連絡してください。

- ① 配達店等から新聞購読に関する代金請求・無理な勧誘等があった場合
- ② 本プログラムの履修を取り止める場合
- ③ 新聞が配達されない又は期間外に配達される場合
- ④ 住所変更等により、新聞の配達先が変わる場合

なお、住所変更の場合、手続状況により新住所に配達されるまでに数日かかることがありますので、速やかに届け出てください。

注2：既に日本経済新聞を購読している場合であっても、本新聞は授業の教材として使用するために配達されるので、配達を断ることはできません。

注3：授業に真剣に取り組む学生を歓迎します。出席状況等によっては新聞の送付を取りやめることがあります。

3 履修資格・方法等

(1) 履修資格等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部の2年生以上で、次に掲げる項目について書類審査し、選抜します。(必ず全項目を記入してください。)

- ① 単位修得状況及びGPA（前年度末までの累計）
- ② 取得資格等
- ③ 授業に積極的に参加する意欲のある者（「履修希望カード」の履修動機）

(2) 定員

50名（予定）

注：本プログラムは、履修希望者が30名に満たない場合は開講されません。

(3) 履修登録の手順等

ア ガイダンスに出席し、「履修希望カード」を提出してください。

イ 4月4日(木)に2101・2103大講義室横掲示板に掲示される履修許可者を確認してください。

※ 履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。

ウ 履修登録期間中にWebポータルシステムで履修登録を行ってください。

V サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム

－ 明海・サイマルパートナーシッププロジェクト －

本プログラムは、1965 年、日本で初めて国際会議の通訳者グループとして発足した株式会社サイマル・インターナショナルとの連携によるプログラムで、英語通訳者として国際活動に携わるための高度なスキルを修得することができます。実際にサイマル・アカデミー通訳コース（英語コース）の通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、通訳Ⅲ又は通訳Ⅳのいずれかのクラスに入って学ぶ実践的なプログラムです。

なお、4 月入学及び 10 月入学があり、2019 年度については、10 月入学の募集となります。募集に関する詳細については、別途掲示でお知らせします。

1 対象学部・年次等

外国語学部、経済学部、不動産学部及びホスピタリティ・ツーリズム学部

履修年次：3 年次（希望者が定員に満たない場合に限り、2 年次の後学期又は 4 年次の前学期の履修を認めます。）

定 員：2 名

対象クラス等：通訳コース 通訳Ⅰ、通訳Ⅱ、通訳Ⅲ、通訳Ⅳ（全て週 4 時間 半年間）

* 授業が行われる期間、曜日、時間帯及び場所等はサイマル・アカデミーの募集要項参照
（10 月コースの募集要項は、8 月上旬完成予定）

2 受講資格

本学が行うインタビュー並びにサイマル・アカデミーが行うレベルチェック及び通訳テストに合格した者
〔受講できるレベルの目安〕

TOEIC Listening & Reading Test 900 点以上が望ましい。TOEFL (iBT100 点以上、CBT250 点以上又は PBT600 点以上) 又は英検 1 級レベル相当者

〔各クラスレベル概要〕

通訳Ⅰ	<u>英 語 力</u>：多くの一般的な話題について自然なネイティブ・スピーカーの英語を理解し、同様の内容をおおむね問題なく英語で表現することができる力があること。また、ビジネスにおいても、様々な場面に応じて自分の考えを順序立てて話すことができ、仕事をこなす能力がある。 <u>通訳スキル</u>：通訳の概要を理解し、上記英語力を基にごく平易な内容の日本語を、単文程度訳し、同程度の英語を日本語に訳す能力がある。
通訳Ⅱ	<u>英 語 力</u>：経済、ビジネス、国際関係などの話題についてネイティブの英語をおおむね正確に理解することができ、同様の内容を基礎的な文法上の誤りなく英語で表現する能力がある。 <u>通訳スキル</u>：経済、ビジネス、国際関係などの比較的平易な英語の内容を正確に理解し、ノートをとって分かりやすい日本語に訳し、同様の内容の日本語を文法上の誤りのない英語に訳す能力がある。
通訳Ⅲ	<u>英 語 力</u>：表現においては自然さ、流暢さ、高度な語彙力などの面で欠けるが、理解においては専門的な内容のものを除いてほぼ問題のない能力を持っていること。 <u>通訳スキル</u>：経済、ビジネス、金融を含む一般的な内容について、比較的正確な理解力、ノートテキング力を持ち、逐次モードでは日本語にも英語にも分かりやすい通訳をする能力がある。
通訳Ⅳ	<u>英 語 力</u>：表現においては自然さ、流暢さ、高度な語彙力などの面で欠けるが、理解においては専門的な内容のものを除いてほぼ問題のない能力を持っていること。 <u>通訳スキル</u>：経済、ビジネス、金融を含む一般的な内容について、比較的正確な理解力、ノートテキング力を持ち、逐次モードでは日本語にも英語にも分かりやすい通訳をする能力がある。通訳Ⅲより高い精度が求められる。

3 履修手続

(1) 履修申込書（所定様式）を提出

提出期限：7月上旬を予定

提出先：学事課（教務担当）



(2) 第1次選考（明海大学における選考）

選考方法：1人15分程度の英語によるインタビュー

日時：7月中旬を予定

結果発表：7月下旬（全学共通掲示板で確認してください。）

* 通訳関係の授業を履修している者は、第1次選考のインタビューを免除することがあります。



(3) 第2次選考（サイマル・アカデミーにおけるレベルチェック・通訳テスト）

第1次選考で合格した者は、直接サイマル・アカデミーにレベルチェック（無料）及び通訳テスト〔有料、通訳一次テストと二次面接（該当者のみ）〕の申込みを行ってください。

なお、申込先、日程及び手続方法等の詳細は、サイマル・アカデミーの募集要項で確認してください。



(4) 合格発表及び入学手続

第2次選考の結果は、サイマル・アカデミーから個別に通知があります。

なお、第2次選考で合格した者には、受講クラスの通知書と契約書が郵送されますので、学費納入等所定の手続を行ってください。

* 履修申請手続は必要ありません。（履修単位数の上限には含まれません。）

4 受講料

このプログラムの受講者には、次のとおりサイマル・アカデミーの授業料等に対する減免及び奨学金の給付制度があります。（サイマル・アカデミーにおける授業料は、受講するクラス等によって異なりますので、募集要項等で確認してください。）

なお、明海大学の奨学金は、サイマル・アカデミーからの授業料納付等の報告に基づき給付しますので、本人が手続を行う必要はありません。

時 期	授業料等減免・奨学金給付	備 考
サイマル・アカデミーの入学手続等	入学金：免除 授業料：20%減免	入学手続時には、減免後の授業料（80%相当）をサイマル・アカデミーに納入しなければなりません。
4月入学者：後学期 10月入学者：翌年度前学期	奨学金の額 ：サイマル・アカデミーの 授業料の80%相当額	奨学金の給付は、サイマル・アカデミーに入学した学期の翌学期以降に納入しなければならない。明海大学の授業料から減額する方法で行います。

注1：正当な理由がなくサイマル・アカデミーにおける授業の3分の1以上欠席した者又は成績不振により単位修得が困難な者については、奨学金を給付しません。（給付後であっても、これに該当した場合は給付された奨学金を全額返還しなければなりません。）

注2：授業料等の減免、奨学金の給付は、いずれかのクラスで1度限りとなります。

ただし、通訳Ⅲを受講後、通訳Ⅳを受講する場合については、それぞれのクラスが授業料等の減免、奨学金の給付対象となります。

5 修得単位の取扱い

サイマル・アカデミーからの成績報告に基づき、次のとおり単位を認定します。

なお、成績報告はサイマル・アカデミーから明海大学に直接行われますので、履修者本人が手続を行う必要はありません。

サイマルにおける対応コース 及びクラス等（英語コース）	本学認定科目	授業科目区分等
サイマル・インターナショナル における通訳補助業務研修	サイマル・インターンシップ（2 単位）	「共通科目」の「キャリア形成教育」の卒業要件単位数に算入されます。
通訳コース 通訳Ⅰ （週 4H 半年）	通訳入門Ⅰ（英語）（4 単位）	
通訳コース 通訳Ⅱ （週 4H 半年）	通訳入門Ⅱ（英語）（4 単位）	
通訳コース 通訳Ⅲ 通訳コース 通訳Ⅳ （それぞれ週 4H 半年）	逐次通訳基礎Ⅰ（英語）（4 単位） 逐次通訳基礎Ⅱ（英語）（4 単位）	

注 1：サイマル・インターンシップについては、当該プログラム履修者のうち、希望者のみ実施することになっています。

注 2：このプログラムの開講時間は主に夜間（19 時から）となっていますので、本学授業の欠席等に対する特別措置は行いません。

VI 2019 年度産学連携教育プログラム授業概要

【ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム】

① ツーリズム概論

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム(観光)は大きな転換期を迎えており、産業全体としてもその裾野が益々広がっている。また、2020 年東京五輪の開催を控えるなか、既に訪日外国人旅行者の急増が顕著となり、もたらされる大きな経済効果がより一層期待される一方で、低迷する国内旅行需要の底上げを含め、地方創生や新たな社会システムの構築に向けた様々な動きが注目されている。本講座では、ニュース記事や VTR 等も活用し、ツーリズム全般を身近な事象としてわかりやすく学びながら、今、日本が急ピッチで目指す「観光立国」に向けた諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

② ホテル・リゾート研究

本講座では海外におけるホテルの発展の歴史や意義、日本での旅館等も含めた発展の歴史を学びながらホテルの持つ公共性や国際交流において果たす役割などを見ていく。次にホテル事業そのものについてその経営形態、組織、特性、さらには収入構成や収益構造を理解する。その上でホテルに特有の宿泊部門、料飲部門、宴会・ブライダル部門、間接部門の業務などをホスピタリティマインド、コミュニケーションスキルの重要性を意識しながら学んでいくこととする。また訪日外国人の増加に伴うホテルの多様化も視野に入れ、今後の動向を研究する。

③ 航空サービス論

航空運送事業に興味と関心を持ち、航空機に関わる業務と空港業務の具体的な仕事内容を理解する。航空会社がお客へ提供するサービスを多方面から研究し、そこに携わるスタッフのホスピタリティマインドとチームワークについても理解を深める。また、各国航空会社の提供するサービスについての比較を行い、これから求められるサービスについてもグループワーク、発表等の中で考察していく。

④ フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

空のスペシャリスト、フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを多面的に研究する。また、変革と改革が進む航空業界で求められる人材や顧客戦略等の業界研究を行う。授業では、自分の強みを人に伝える(=社会に還元する)自分力の発揮のための表現力アップを目指し、演習やディスカッション、1 分間スピーチ等、アウトプットする機会を多く設ける。

⑤ ホスピタリティ論 I (ホスピタリティ基礎)

ホスピタリティとは本来、歴史、文化、宗教、社会学、心理学、その他の分野と関わる幅広い意味があり、グローバル化が進む現代において、ますます必要とされる概念である。本講義では、より身近な事例(コミュニケーション、チームワーク、マナー等のテーマ)を用いたグループワークを行い、「おもてなし」だけにとどまらないホスピタリティの概念について理解を深める。さらに、ユニバーサルサービスについて学びながら、ホスピタリティ発揮に必要なことは何かを探究する。

⑥ ホスピタリティ論Ⅱ（ホスピタリティと産業）

産業や企業が発揮しているホスピタリティに焦点を当て、現代社会においてホスピタリティが生み出す価値を理解し、発揮していくための組織体のあり方を考察する。商品やサービスの低価格化志向の一方で、ホスピタリティを付加価値として、商品やサービスの差別化を図ろうとする企業も増えてきた。本講義では、スターバックスやTDR 等が実践するホスピタリティを、ケーススタディ、グループワークを通じて学び、企業のホスピタリティ・マネジメントや企業活動におけるホスピタリティへの理解を深める。

⑦ ホスピタリティ論Ⅲ（ホスピタリティ・マナー演習）

ホスピタリティ発揮のための実践的なスキルやマナーを学び、社会人基礎力を養う。前半では、国際的視野に立ったマナー演習を中心に、ロールプレイングの手法にて理解を深める。後半では、自己分析シートを用いて自分自身の強み弱みを確認し、自己理解を深め、自分の持ち味をホスピタリティ発揮に活かす。また、身近なトピックスを用いたグループディスカッションでは、他者との違いを知り、共感性について深く考える。さらに、最終プレゼンテーションにおいては、ホスピタリティを発揮した豊かな表現力の向上を図る。

【ビジネスコミュニケーションプログラム】

ビジネスコミュニケーション A・B

学生生活の限られた同世代との交流よりも幅広い、社会人として活躍するためのリアルなコミュニケーションスキルを、ロールプレイや模擬面接等の実践を通して、楽しく修得することを目的とします。自分自身の印象を知り、自己表現力アップに繋がるプログラムで、就職活動のときだけではなく、就職後にも役立つ授業です。

【野村證券ファイナンスプログラム】

① 資本市場の役割と証券投資

長期にわたる超低金利、確定拠出年金制度の導入、ペイオフ実施及び雇用不安等、我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、「自己責任の原則」の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきた。

このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

② 証券投資シミュレーション

経済や金融の教科書のなかの知識だけでは身につけることのできない、生（ナマ）の経済にふれ、コンピューターシミュレーションを通じて証券投資の実際について学ぶ。学ぶというよりは、自ら行動し、学び、考え、それをレポートにまとめることを目標としています。中・高・大学生のための株式学習のために設けられたコンテスト「日経 STOCK リーグ」に参加して、インターネットを利用して本番さながらの株式売買シミュレーションを行います。

【日経・ビジネスプログラム】

日経・ビジネスプログラム

社会で活躍するために、企業の目的・仕組みと、企業活動の成果・評価、仕事の中身や経営課題を学ぶことは重要なことである。本講座は「日本経済新聞」とオリジナル教材をテキストに、具体的な企業の行動と、企業環境の土台となる日本経済、世界経済の最新の状況を考察する。そして、現状の経済に対し、企業や産業がどのような対応に迫られているのかを認識することを目的とする。本講義を学ぶことにより、将来のキャリアを考えるヒントを得る事ができ、さらには、就職活動に活かせる業界研究や企業研究の基盤となる知識や情報を修得することができる。

Ⅶ 2019 年度産学連携教育プログラム授業時間割

【前学期】

授業期間：4月4日(木)～7月24日(水) 定期試験期間：7月25日(木)～31日(水)

	月	火	水	木	金
2 時限 10:40 12:10				通年 日経・ビジネスプログラム (2～4年) 担当：・日経メディアプロモーション株式会社派遣講師 ・大黒 章子	
3 時限 13:00 14:30	フライトアテンダント・ グランドスタッフ研究 (2～4年) 担当：大蔵 あかね			ホスピタリティ論Ⅰ (2～4年) 担当：大崎 史真子	
4 時限 14:40 16:10		ツーリズム概論 (2～4年) 担当：松山 豊浩		ホスピタリティ論Ⅲ (2～4年) 担当：大崎 史真子	
5 時限 16:20 17:50		資本市場の役割と証券投資 (2～4年) 担当：野村証券株式会社派遣講師			
集中 授業	ビジネスコミュニケーションA・B(前学期)(1～4年) *履修登録は必要ありません。 第1回 5月11日(土)・18日(土)・25日(土)・6月 1日(土) 各1・2時限 第2回 8月 1日(木)・2日(金) 各1～4時限 第3回 8月 8日(木)・9日(金) 各1～4時限				

※ 授業コード及び教室については、「2019年度授業時間割」を参照してください。

【後学期】

授業期間：9月13日(金)～2020年1月20日(月) 定期試験期間：2020年1月21日(火)～27日(月)

	月	火	水	木	金
2 時限 10:40 12:10				通年 日経・ビジネスプログラム (2～4年) 担当：・日経メディアプロモーション株式会社派遣講師 ・大黒 章子	
3 時限 13:00 14:30	ホテル・リゾート研究 (2～4年) 担当：松井 太郎			航空サービス論 (2～4年) 担当：大蔵 あかね	
4 時限 14:40 16:10				ホスピタリティ論Ⅱ (2～4年) 担当：大蔵 あかね	
5 時限 16:20 17:50		証券投資シミュレーション (2～4年) 担当：伊東 尚憲			
集中 授業	後学期のビジネスコミュニケーションA・Bの日程等については後学期の授業開始前に掲示で発表します。				

※ 授業コードについては、「2019年度授業時間割」を参照してください。

※ 後学期の教室については、後学期開始前に掲示で発表します。

履修希望カードの提出等について

産学連携教育プログラムを履修登録及び受講するためには、「履修希望カード」の提出が必要です。各プログラムの履修登録の手順等に従い、必ず提出してください。

【履修希望カードの提出時期等】

プログラム名称	提出時期等	備 考
ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	ガイダンス時に提出	●HT学部学生は履修できません。 ●一部の科目については履修希望者が定員を超えた場合、抽選になります。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
ビジネスコミュニケーションプログラム	4月4日（木）から学事課（教務担当）窓口へ提出 ※ 後学期については、別途掲示します。	●「履修希望カード」は学事課（教務担当）の窓口で配布します。 ●受講者は先着順です。定員を超えた場合はキャンセル待ちとなります。
野村証券ファイナンスプログラム	ガイダンス時に提出	●履修許可者が4月4日（木）に2101・2103大講義室横掲示板に掲示されます。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
日経・ビジネスプログラム	ガイダンス時に提出	●履修許可者が4月4日（木）に2101・2103大講義室横掲示板に掲示されます。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム	所定の時期に学事課（教務担当）窓口へ提出	●「履修希望カード」は学事課（教務担当）の窓口で配布します。 ●詳細については、別途掲示します。

注1：「履修希望カード」を提出しない場合、履修登録及び受講は認められません。

※ やむを得ない事由でガイダンスを欠席する場合は速やかに、学事課（教務担当）へ「履修希望カード」を提出してください。

ただし、ガイダンス出席者の履修を優先的に許可します。

注2：履修資格等については【プログラム概要・履修方法等】（P.2～10）を参照してください。

なお、選抜結果に関する問い合わせには、一切応じません。

ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

履修希望科目（履修を希望する科目に○を記入）

授 業 科 目 (単位数)	配当 年次	授 業 担当者	開講期	曜日・時限
ツーリズム概論 (2)	2	松山 豊浩	前	火・4
ホテル・リゾート研究 (2)	2	松井 太郎	後	月・3
航空サービス論 (2)	2	大蔵 あかね	後	木・3
フライトアテンダント・グランド スタッフ研究 (2)	2	大蔵 あかね	前	月・3
ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・3
ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業) (2)	2	大蔵 あかね	後	木・4
ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・4

履修希望総単位数 _____ 単位 (※ 必ず記入すること。)

野村證券ファイナンスプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

メールアドレス @

単位修得状況・GPA	前年度までの修得単位数： 単位	
	前年度までのGPA（通算）： （＊成績表で確認の上、記入してください。）	
取得資格等 〔TOEFL / TOEIC （L&R）を含む。〕	取得資格	取得年
エクセル操作について（自己判断）	☐ 上級 ☐ 中級 ☐ 初級 ☐ 使用できない	
インターネットについて	☐ 自由自在に使いこなせる ☐ ある程度使いこなせる ☐ 使ったことがない	
ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習E・F、について	☐ 受講済み ☐ 今年度受講予定 ☐ 受講していない ＊経済学部及び不動産学部のみ記入	
就職希望先（業種）		
履修動機（将来の目標を含めて簡潔に）		
摘 要（記入不要）		

日経・ビジネスプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科 コース

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

メールアドレス @

単位修得状況・GPA	前年度までの修得単位数： 単位 前年度までのGPA（通算）： （＊成績表で確認の上、記入してください。）	
取得資格等 〔TOEFL / TOEIC （L&R）を含む。〕	取得資格	取得年
就職希望先 （業種・職種等）		
履修動機（将来の目標を含めて簡潔に）		
摘 要 （記入不要）		

履修希望カードの提出等について

産学連携教育プログラムを履修登録及び受講するためには、「履修希望カード」の提出が必要です。各プログラムの履修登録の手順等に従い、必ず提出してください。

【履修希望カードの提出時期等】

プログラム名称	提出時期等	備 考
ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム	ガイダンス時に提出	●HT学部学生は履修できません。 ●一部の科目については履修希望者が定員を超えた場合、抽選になります。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
ビジネスコミュニケーションプログラム	4月4日（木）から学事課（教務担当）窓口へ提出 ※ 後学期については、別途掲示します。	●「履修希望カード」は学事課（教務担当）の窓口で配布します。 ●受講者は先着順です。定員を超えた場合はキャンセル待ちとなります。
野村証券ファイナンスプログラム	ガイダンス時に提出	●履修許可者が4月4日（木）に2101・2103大講義室横掲示板に掲示されます。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
日経・ビジネスプログラム	ガイダンス時に提出	●履修許可者が4月4日（木）に2101・2103大講義室横掲示板に掲示されます。 ●履修希望者が定員に満たない場合は、追加募集を行います。
サイマル・アカデミー通訳者養成特別プログラム	所定の時期に学事課（教務担当）窓口へ提出	●「履修希望カード」は学事課（教務担当）の窓口で配布します。 ●詳細については、別途掲示します。

注1：「履修希望カード」を提出しない場合、履修登録及び受講は認められません。

※ やむを得ない事由でガイダンスを欠席する場合は速やかに、学事課（教務担当）へ「履修希望カード」を提出してください。

ただし、ガイダンス出席者の履修を優先的に許可します。

注2：履修資格等については【プログラム概要・履修方法等】（P.2～10）を参照してください。

なお、選抜結果に関する問い合わせには、一切応じません。

ANA ツーリズム・ホスピタリティプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

履修希望科目 履修を希望する科目に○を記入してください。

授 業 科 目 (単位数)	配当 年次	授 業 担当者	開講期	曜日・時限
ツーリズム概論 (2)	2	松山 豊浩	前	火・4
ホテル・リゾート研究 (2)	2	松井 太郎	後	月・3
航空サービス論 (2)	2	大蔵 あかね	後	木・3
フライトアテンダント・グランド スタッフ研究 (2)	2	大蔵 あかね	前	月・3
ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・3
ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業) (2)	2	大蔵 あかね	後	木・4
ホスピタリティ論Ⅲ (ホスピタリティ・マナー演習) (2)	2	大寄 史眞子	前	木・4

履修希望総単位数 _____ 単位 (※ 必ず記入すること。)

野村證券ファイナンスプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

メールアドレス @

単位修得状況・GPA	前年度までの修得単位数： 単位	
	前年度までのGPA（通算）： （＊成績表で確認の上、記入してください。）	
取得資格等 〔TOEFL / TOEIC （L&R）を含む。〕	取得資格	取得年
エクセル操作について（自己判断）	☐ 上級 ☐ 中級 ☐ 初級 ☐ 使用できない	
インターネットについて	☐ 自由自在に使いこなせる ☐ ある程度使いこなせる ☐ 使ったことがない	
ファイナンシャル・プランナー講座Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習Ⅰ・Ⅱ、不動産実務演習E・F、について	☐ 受講済み ☐ 今年度受講予定 ☐ 受講していない ＊経済学部及び不動産学部のみ記入	
就職希望先（業種）		
履修動機（将来の目標を含めて簡潔に）		
摘 要（記入不要）		

日経・ビジネスプログラム履修希望カード

年 月 日

学部・学科： 学部 学科 コース

学籍番号： 年次： 年
ふりがな

氏 名：

連絡先（携帯電話等）：

メールアドレス @

単位修得状況・GPA	前年度までの修得単位数： 単位	
	前年度までのGPA（通算）： （＊成績表で確認の上、記入してください。）	
取得資格等 〔TOEFL / TOEIC （L&R）を含む。〕	取得資格	取得年
就職希望先 （業種・職種等）		
履修動機（将来の目標を含めて簡潔に）		
摘 要 （記入不要）		